

## ◆ SEALOVERS 沖縄安全対策の取り組み

マリンスポーツはルールを守って行う限り、非常に安全で楽しいスポーツです。SEALOVERS 沖縄では適切なスタッフ人数配置、病歴書提出や各種コース参加時のライフジャケット着用などの厳守、など徹底した安全管理を行っています。そのため、開催までの手続きに少々手間がかかりますことをご了承ください。

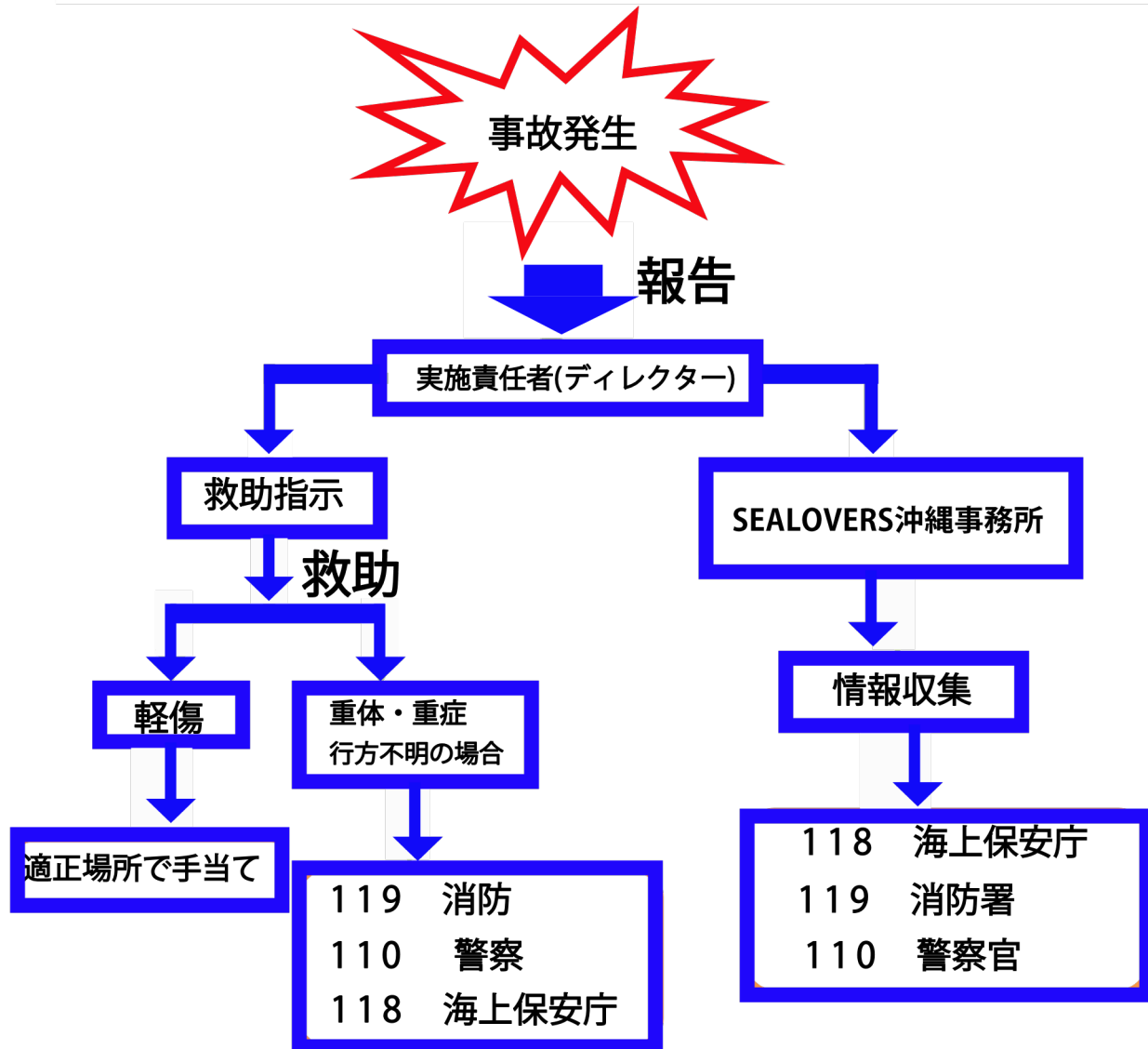
指導員は十二分の注意を払っておりますが、最終的に安全は意識の持ち方や協力によるところが大きいものです。安全に楽しくマリンスポーツを体験して頂くため、スタッフ一同全力で努めますので、参加される皆様もご協力の程を宜しくお願い致します。

## ◆ 安全対策

- ・参加承諾書・免責同意書の記入
- ・カヤック・ダイビングおよびシュノーケリングについては、コース参加承諾書および免責同意書を 事前にメールでお送りし、署名を頂きます（未成年は要保護者署名）
- ・健康調査表（メディカルチェックリスト）の作成と記入  
カヤック・体験ダイビングおよび シュノーケリングについては、健康状態を記入  
SEALOVERS 沖縄 の実施統括責任者および担当指導員が厳密にチェックをし、参加の可否を決定します。
- ・健康状態の基準  
ダイビングおよびシュノーケリングのコースに参加できない健康状態の基準を病歴書の内容に沿って定めています。
- ・安全対策用器材の準備  
救命浮輪、ロープ、通信手段、などの必需品を必要数用意し、実施場所で配置し ます。
- ・コース開催実施・中止の判断（※通常、開催当日の朝に協議し判断を行います。）  
天候悪化などの影響でコースを開催するか、中止にするかの判断が必要な場合は、SEALOVER 沖縄実施統括責任者で判断を行いご連絡致します。
- ・事故発生時の対応と手順  
万が一、水難事故が発生した場合は、緊急事態発生時のフローチャートの流れで対応・報告を行います。
- ・監視体制  
遊泳区域前および、各コース実施水域前の陸上に救命浮輪やホイッスルを常備した安全監視員を配置します。
- ・救護箱の設置  
コース開催中に起こりうる岩やサンゴでの怪我や軽い打撲の対応等に備えて開催場所に救護箱を設置します。
- ・マリンスタッフ所有資格

小型船舶操縦士、STARS 潜水指導員、STARS 救命救急認定 PADI インストラクター資格 NAUI インストラクター資格

# 緊急事態発生時の連絡体系フローチャート



※事故が発生した場合 事故現場または発見者から実施責任者 報告がはります。

※事故が発生した場合、事故現場または発見者から実施責任者へ報告がはります。

実施責任者は全てのスタッフへ救助指示と他の方への安全確保、事務所へ連絡を指示します。

★救助が出来軽傷の場合は適切な場所、又は本部にて手当します。

★救助が出来重体・重症の場合は即消防署・海上保安庁・警察等へ連絡し救急救命士の指示を仰ぎながら人工呼吸・AED の処置をします。

★事務所の対応は実施責任者と電話・内線などの通信手段を使用して、実施責任者の サポート（連絡・人材派遣）及び情報収集にあたり、確実な情報確保に従事します。

## ■ 保有資格

SEALOVERS 沖縄では恩納村ダイビング協会に加盟し協会が開催するトレーニングを受けてスキルの継続を維持しております。ダイビングスタッフは、ダイビング指導団体のインストラクター資格と潜水士の国家資格を持っており、沖縄県公安委員会にガイドダイバー登録しています。

## ◆ 緊急連絡先

### ・警察機関

石川警察署 水上安全対策課 [098-964-4110](tel:098-964-4110)

名護警察署

098-964-4110

0980-52-0110

### ・海上保安庁機関 海上保安庁 緊急 SOS 番号 118

第 11 管区海上保安本部救難司令室 098-866-4999

### ・消防機関 ・医療機関

名護海上保安署 [0980-53-0118](tel:0980-53-0118)

石川消防署 [098-965-0831](tel:098-965-0831)

名護消防本部 [0980-52-1142](tel:0980-52-1142)

沖縄県立北部病院 [0980-52-2719](tel:0980-52-2719)

沖縄県立中部病院 [098-973-4111](tel:098-973-4111)

恩納診療所 恩納クリニック・098-966-8115

## ◆ 保険

SEALOVERS 沖縄では万が一の水難事故に備えて、下記の保険を完備しています。

要望に応じて、いつでもその証券を提出できます。

・潜水指導員賠償総合責任保険 ・ヨット、モータボート総合保険 ・PADI ジャパン施設受託生産物賠償責任保険

# 水難事故防止概要

事業に伴い発生が予想される水難事故を防止する為にとる措置の概要

## 1. 器材点検

器材のメンテナンスは、重器材の使用前にお客様と一緒に確認をし、終了後にスタッフが毎回壊れているところや破損箇所がないかの確認を致します。（スキューバプロ、アクアラング、TUSA のメンテナンス講習済み）

タンクに関して弊社は自社タンクを有しており（容器登録済み）法律で定められた期限内のものを使用致しております。

こちらのタンクに関しても使用前にお客様に臭気等を確認頂いてからご使用頂きます。

## 2. 安全管理

沖縄の海洋状況を毎朝チェックして無理なくお客様の身体の状況をしっかりと判断した上でコースを開催致します。ちなみに弊社の体験ダイビングの人数比ですが、インストラクター 1 人に対してお客様概ね 2 人までライセンスをお持ちの初級潜水者は概ね 4 人 ・ 中級潜水者 はおおむね 6 人、シュノーケルに関しましては 8 人までの対応とさせていただきます。

ボートを使ったコースでは沖縄の海を知り尽くしている船頭さんに海の状態を判断して頂き、お客様の状態とスキルを考慮した上で細心の注意を払いながら開催させていただきます。

## 3. スタッフ教育

各自の所属団体より送られる最新情報をアップデートしスキルアップと安全管理の教育を徹底していきたいと思っております。

所属しているダイビング協会の CPR トレーニングとレスキューの手順の講習は必ず受講させていただいております。